

第二回 学校運営協議会 議事録

日時：令和3年12月21日（火）15:00～16:20

場所：本校別館2階 ふれあい教室

出席者：大束委員、津田委員、

事務局：重松校長・橋爪教頭・吉川事務長・安部首席(総務部長)・

田中裕先生(進路指導部長)・西村先生(自治会主担)・岩田先生(保健部長)

北郷先生(1年学年主任)・岡田先生(2年学年主任)・上野先生(3年学年主任)

※ 記録係：森先生

内容

1 校長挨拶 (2学期振り返り)

- ・2学期は最初から新型コロナウイルス感染症の対応に追われた
- ・文化祭の延期等により大きな行事が中間テスト後に集中した
- ・生徒端末(Chrome book)を導入。導入直前の教員研修では、教員の集中力、一体感を感じた。
現在は、授業での活用の他、健康観察記録のアンケート等、生徒の状況把握にも活用している。

2 委員の紹介、事務局の紹介 (佛教大学 大束教授)

3 各分掌・学年から取組状況説明

生徒指導部

- ・遅刻、欠席が9月から急増
- ・自転車指導について
(指導47名、内2名が3回違反のため、寝屋川ドライビングスクールで安全講習を受講し再許可)
- ・内面規律 (遅刻・欠席・身だしなみについて、学校全体で指導していく必要性について)

生徒自治会

- ・行事アンケートにおける満足度が去年より減じている。(コロナ関連での活動制限等も要因)
- ・部活加入率 67%

進路指導部

- ・昨年に引き続き、受験の意識を早くつけさせる活動として、年明け第一志望宣言を予定
- ・自習室の設置 (現状4階図書室から2階職員室前学習室へ移設予定、平常時2名程度)
- ・共通テスト受験者10名 (去年より増)
- ・入試結果 (京産・龍谷・橘・摂南の合格者増、看護は3人に1人合格程度)
- ・就職は、希望者全員決定済。

保健部

- ・コロナ禍で、2学期当初から緊急事態宣言が明けるまでの間、教員による廊下立ち番をし、
黒板の一方向を向いての黙食を徹底。
- ・トイレ工事完了し、校舎体育館側のトイレを乾式トイレに改修
- ・避難訓練 (火事発生場所を伏せて実施し、引率教員も含め、危険な地域や避難時の密防止等を

意識しながら行動できるようにした。→振り返りアンケートを回収中で、総括を行う予定)

- ・ 歯科講演（オンラインで校長室と各 HR 教室を繋ぎ、Web 会議形式で実施）
- ・ 委員会活動（清掃活動）

総務部

- ・ 芸術鑑賞（昨年度、在籍期間中に 1 度は実施する方針としており、本年度は中止、来年実施予定）
- ・ パンフレット更新（新カリキュラムに伴う校時、選択科目等を修正、また、デザインもシンプルに刷新）
- ・ 中学への広報活動（その他パンフレット等の郵送にあわせ、通学時間 1 時間以内の中学校に電話での説明を全教員が行った。）
- ・ ケータイ連絡網（昨年に引き続き、新入生の生徒・保護者に必要性を保護者に伝え、全員加入していただいております、緊急時の連絡や、保護者対象のアンケート協力依頼等の発信に利用）
- ・ 終業式・始業式（体育館で分散により実施）
- ・ 学校説明会について

本校での学校説明会の実施(11 月、12 月)

外部説明会もコロナ禍で中止になったものもあるが、2 回実施。

1 年生

- ・ ルールの順守（この時期にしては守れている、注意にも従順）
- ・ 夏休み明けより登校できない生徒が増（行事延期などによりクラスに馴染めていないか）
- ・ Chrome book を用いて日々の健康観察

2 年生

- ・ GTEC 実施
- ・ 修学旅行の中止（代替として遠足実施）
- ・ 実力テスト（下の層が成績向上に向けた意識づけを進めている）

3 年生

- ・ 行事延期によるモチベーション低下（複数行事の集中、入試時期）
- ・ 文化祭演劇（短い時間でいいものができた）
- ・ 入試制度改変における対応（進路部と協力し、生徒へ情報提供）
- ・ 遅刻、欠席者多（体調に関して、コロナ不安があるのかご家庭が敏感）

6 協議

(津田委員)

- ・ SGS(SchoolGuardSupporter)に高校生も参加してくれて嬉しい。

例年より多くの生徒が見守ってくれて、中学生と高校生が並んで迎え入れ、多くの地域の人達に見守られていると、小学生は感じている。

(大東委員)

- ・ Chrome book は卒業後どうするか。(大学でも活用したい) また、更新について。

→卒業後は回収し、新入生が利用する。リース調達のため、3 年毎に更新することは予算的に難しく調達そのものは、教育庁が行っている。

- ・大学進学希望者のうち、一般受験する人数とその割合は？

→約 20 名で、進学希望生徒の約 20%

- ・より早く学生を確保したいという意図から推薦・公募・AO の枠を多くの大学が拡大している。そうした中で、数年前より AO 受験者のレベルが低下している。しかし大学には予定合格者数が決まっており、そうした中でも合格者を出さざるを得ない。逆にいうと、PR 内容についてしっかり指導ができていれば合格できるという現状である。3 年間の中で、何か 1 つ頑張るものを見つけるよう、そのような指導を 1 年時からしてほしい。実際どのような指導をしているか。

→本校生徒は、データ上 AO 向き。本当に行きたい大学なら AO を受けるよう積極的に指導。

→ポートフォリオを作成させているが、形骸化してきている。

- ・都立高校では行事を中止した学校が多い中、実施できたことが素晴らしい。
- ・IT に対する生徒の技術はどうか。(大学講義での参考に)

→Chrome book を利用することで、IT 機器に触れることには慣れている。

(福留委員)

- ・学校行事や生徒指導、進路関係など、多岐にわたり先生方が丁寧に関わっていることを感じることができました。
- ・コロナ禍において、あらゆる活動が制限される中で、できる限りのことを生徒たちとともに取り組んでいることと思います。
- ・また、登下校時の生徒の姿をよく見かけるのですが、自転車や徒歩での通行など、非常にマナー良くしているのが印象的です。先生方の指導の賜物だと思います。これからも引き続きご指導いただき、生徒たちが自信をもって卒業できる学校づくりをお願いいたします。

7 諸連絡